

令和4年度保護者等による児童発達支援評価結果

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者の皆様に事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

保護者等数 87名 回収数 83 割合 95%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | 御意見 | 御意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-----------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 81 | 1 | 0 | 0 | ・一つ一つの部屋が広い。 ・教室に無駄な物がなため気が散らなくてよい。 ・雨の日に楽しく過ごせる部屋がある。 | ・必要な掲示や表示のみにし、分かりやすい環境になっています。 |
| | ② 職員の配置数や専門性は適切であるか | 76 | 3 | 2 | 1 | ・職員が1クラスに3人いて安心感がある。 ・子どもへの対応を相談した時、先生により返答に差がある。 | ・子どもの年齢や特性、人数によって職員を配置していきます。 ・職員間の共有化をしたうえで、対応等をするよう心掛けていきます。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 75 | 2 | 0 | 5 | ・何をする部屋か、置いてある物で分かるので良い。 | |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 80 | 2 | 0 | 0 | ・子どものサイズになっている物が多く良い。 | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画</u> が作成されているか ⁱⁱ | 81 | 0 | 0 | 1 | ・保護者と話し合いをし、内容を考えてくれている。 ・子どもの状態を分析して作成されていると思う。 | ・子どもの状況を標準化されたアセスメントツールにより確認しています。 ・定期的に面談週間を設け、保護者のニーズや子どもの課題を反映した計画を立案するよう努めています。 |
| | ⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 70 | 2 | 0 | 10 | ・詳しく支援内容がのせてあり、定期的に説明を受けている。 ・児童発達支援ガイドラインが分からないため適切に設定されているか判断できない。 | |
| | ⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか ⁱⁱⁱ | 77 | 3 | 0 | 2 | ・計画に沿った遊び方や声掛けが行われている。 | |
| | ⑧ <u>活動プログラム</u> が固定化しないよう工夫されているか | 70 | 6 | 0 | 6 | ・苦手な遊びもチャレンジできるようにしている。 ・似た内容だが、変えていると思う。 ・音楽を取り入れてほしい。 | ・季節やお子さんの状況に合わせて、少しずつ変更しています。また、必要に応じて繰り返し行っている活動があります。 |
| | ⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 39 | 10 | 13 | 18 | ・通園しているため、必要性を感じない。 ・年に1回でも行ってもらいたい。 | ・並行通園のため、在籍園で機会があることから実施しておりません。 未就園児の教室でも回答していただいた為、わからないと答えた方の数が多くなっています。 |
| 保護者 への 説明等 | ⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 80 | 2 | 0 | 0 | ・オリエンテーションで説明を受けた。 | |
| | ⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 77 | 3 | 0 | 2 | ・定期的に説明を受けている。 | |
| | ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか ^{iv} | 51 | 9 | 3 | 19 | ・もう少しあってもよいと思う。 ・その都度声掛けの仕方や遊びの仕方を教えてもらっている。 | ・保護者参加の教室を実施しています。 ・教室実施時に保護者の困り感やお子さんへの対応についてどう支援するかお伝えしていきます。 |

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わから ない | 御意見 | 御意見を踏まえた対応 |
|----------|---|----|---------------|-----|-----------|--|--|
| 保護者への説明等 | ⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 74 | 6 | 1 | 1 | ・毎回、子どもの様子を詳しく知らせてくれている。 ・よく子どもを見てくれている。 ・活動中にのびたところを伝えてくれたり、今後の課題を教えてくださいしてくれる。 ・先生によって言うことが違っている時がある。 | ・教室の中でお子様の状況や課題について随時お伝えして共通理解していけるよう努めています。 |
| | ⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 77 | 3 | 2 | 0 | ・定期的に面談している。 ・面談やはぐカフェで聞いたり話ができる。 ・教室の時間ではなかなか難しいと思うが、もう少し助言があると勉強になる。 | ・必要に応じて面談や相談をしていきます。 ・教室の中で保護者に声を掛けていくように意識していきます。 |
| | ⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 57 | 18 | 0 | 6 | ・はぐカフェで悩みなど共有できる。 ・はぐカフェでももう少し話ができるとよい。 | ・月に1回はぐカフェを開催しています。 ・はぐカフェでは保護者同士の情報交換が行えることを目指しております。時々、職員も入らせていただき、気軽な情報交換の機会になるよう配慮していきます。 |
| | ⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 71 | 5 | 1 | 5 | | |
| | ⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 78 | 2 | 0 | 2 | | |
| | ⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 71 | 2 | 3 | 6 | ・はぐくみだよりに毎月の活動予定を載せてくれている。 | ・子どもの様子によって活動内容を組み立て、月に1度『はぐくみだより』でお知らせをしております。なお、事業所評価結果については市ホームページにて公表しております。 |
| | ⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 77 | 1 | 0 | 4 | ・されると思う。 | ・個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | ⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 77 | 1 | 0 | 4 | ・訓練しているのは知っているが、参加回数が少ない為判断できない。 | ・毎月第2週目に曜日ごと避難訓練を実施しています。 |
| | ㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 76 | 1 | 1 | 4 | ・避難訓練が行われている。 | |
| 満足度 | ㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか | 73 | 6 | 0 | 3 | ・とても楽しみにしています。 ・話せないで分からない。 | |
| | ㉓ 事業所の支援に満足しているか | 74 | 7 | 1 | 0 | ・少しずつはぐくみに慣れ自分から動くことが増えた。 | |